

# 土木学会と私



講師：政策研究大学院大学 特別教授  
土木学会次期会長 小澤 一雅 氏

＜講師紹介＞東京大学工学部土木工学科助手、専任講師、助教授を経て、建設省土木研究所建設マネジメント技術研究センター主任研究員、その後、東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授、同大学院工学系研究科教授、特任教授、2024年4月より政策研究大学院大学教授、2026年4月から現職。

＜講演概要＞土木学会中国支部は、本(2026)年に創立85周年を迎えました。2025年5月に策定された「JSCE2025」では、現状分析と未来予測に基づき、土木学会のあり方を見直す必要性が示されています。2014年に創立し、「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目指す土木学会のこれからのについて、皆様とともに考えたいと思います。

公益社団法人  
土木学会  
Japan Society  
of Civil Engineers

「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」(土木学会定款)ことを目指し、以下の三つを活動の柱として活動。①学術・技術の進歩への貢献②社会への直接的貢献③会員の交流と啓発

古市 公威 先生(1854～1934)

1914 (60歳)  
土木学会初代会長に就任

…本会の会員は**技師**である。…(中略)…すなわち**指揮者**である。故に第一に指揮者であることの**素養**がなくてはならない。そして工学所属の各学科を比較した各学科の相互の関係を考えるに、指揮者を指揮する人すなわち、いわゆる**将に将たる人**を必要とする場合は、土木において最も多いのである。…

会員諸君、願わくば、本会のために**研究の範囲を縦横に拡張**せられんことを。しかしてその中心に土木あることを忘れられざらんことを。

(2015年1月土木学会第一回総会会長講演より)

中国地方の選奨土木遺産

土木学会中国支部HPより

気象災害の激甚化・極端気象・人口減少・国際化・日常生活とネットの融合の加速・生成AIの台頭と進化

高齢化するインフラへの対応・労働者不足・土木人材の減少・技術継承の低下・インフラの機能不足や用途変更

学会の様々な「知」は、広く国民に適切に伝わり、適切な社会貢献ができているのだろうか？  
学会は、どのような場として機能するべきであろうか？  
学会の組織は、どうあるべきであろうか？

## JSCE2025

2025年5月29日



日時 令和8年(2026)5月20日(水) 16:55～17:55

場所 メルパルク広島(広島市中区基町6-36) 定員:100名

参加申込 土木学会中国支部ホームページ⇒新着情報⇒支部総会・特別講演会

※右横のQRコードより、事前申し込みを御願ひ致します。(必須)  
※申込後に登録したメールに送られる参加受付票をご持参ください。  
※特別講演会終了後交流会を実施いたします。是非ご参加ください。  
詳細は支部HPをご覧ください。

参加対象 土木学会員・一般

主催/問合 土木学会中国支部HP行事参加申込サイト↑

土木学会継続教育認定CPDプログラム

公益社団法人土木学会中国支部 広島市中区鉄砲町1-18佐々木ビル8F  
TEL:082-222-2376 FAX:082-222-2496 E-mail:jsce-chugoku@citrus.ocn.ne.jp